

## 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果 国立大学法人徳島大学

### 1 全体評価

徳島大学は、高度な研究活動を基盤として、「進取の気風」を育む教育と地域が目線に立った社会貢献を基軸にその社会的使命の達成を目指している。第2期中期目標期間においては、「進取の気風」を育む能動的学習とキャリア教育の推進、教育の質の向上を図り、多様な個性を尊重し高度な専門的能力を培う教育環境の構築等を目標としている。

この目標達成に向け、学長のリーダーシップの下、「徳島大学改革プラン」に基づく新学部「生物資源産業学部」の設置を決定したほか、学部初年次教育として「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」を導入するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

#### 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について

第2期中期目標期間においては、学内資源の再配分及び地方自治体等との連携を通じ、ヘルス・フード・アグリとバイオを融合し、生物資源を活用した産業創出人材を養成するとともに、理工系人材育成の強化を目指した「戦略性が高く意欲的な目標・計画」を定め、積極的に取り組んでいる。

平成27年度は、ものづくりを中心とした教育研究と自然科学の真理の探究との融合により、新たな創造力を生み出す「理工学部」や、生物資源を活用した産業を創出できる人材を育成する「生物資源産業学部」を平成28年度に設置することを決定しており、農場や実習用植物工場等の施設・設備の整備を行っている。

#### 大学の機能強化に向けた取組の状況について

イノベーションを創出する世界最高水準の健康・疾患生命科学グローバル教育研究拠点となる「先端酵素学研究所」の平成28年度設置に向け、共同利用・共同研究拠点としての認可を得るなど、準備を進めている。また、寄附金を財源とする独自の「アスパイア奨学金制度」等による支援を継続的に実施し、海外の大学への学生の派遣や国際学会への参加等を積極的に進めた結果、海外派遣学生数は第2期中期目標期間中最高の176名となっている。

## 2 項目別評価

### <評価結果の概況>

	特 筆	順 調	おおむね 順調	やや遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化		○			
(2) 財務内容の改善		○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供		○			
(4) その他業務運営		○			

### I. 業務運営・財務内容等の状況

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載12事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

#### ○ 全学的な学内資源再配分による新たな学部の設置

「徳島大学改革プラン」に基づき大学の機能強化を図るとともに、地域の要請に応える大学を目指し、全学的な資源再配分による組織見直しを実施するため、既存学部の学生定員の見直しや全学から生物資源系教員・経済系教員等を再配置することによる「生物資源産業学部」の平成28年度からの新設や、総合科学部や理工学部の改組を決定している。

## (2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、②経費の抑制、③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載5事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

### ○ 産学官連携や研究支援の機能集約による外部資金獲得額の増加

知的財産の管理運用や共同研究・受託研究を推進する「産官学連携推進部」と研究支援及び外部資金獲得を推進する「プロジェクトマネジメント推進室」を統合して「研究支援・産官学連携センター」を新たに設置し、人材や情報の集約による機能強化を図るとともに、外部資金獲得のための説明会の開催回数を倍増するなど支援を強化した結果、大型外部資金獲得額は約5億5,435万円（対前年度比約1億6,071万円増）となっている。

## (3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載4事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

### ○ データに基づく組織評価を活用した組織の活性化

「徳島大学教育・研究者情報データベース」や徳島大学データブックを基に作成した評価結果を活用し、毎年、組織評価を実施している。平成27年度は、教育、研究、社会貢献、診療活動の4分野に係るデータや、学長及び理事によるヒアリング等により点数化した結果を基に、全24組織のうち点数が上位であった8組織に対してインセンティブ経費を配分するなど、評価を活用した組織の活性化を図っている。

#### (4) その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守

##### 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載9事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、平成26年度評価において評価委員会が指摘した課題について改善に向けた取組が行われていること等を総合的に勘案したことによる。

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

##### ○ 限定リスクに特化した訓練の実施

発生の可能性の高まっている南海トラフ巨大地震等のリスクに対応するため、自衛消防隊業務講習会や建物応急危険度判定研修、徳島県等が主催する災害医療訓練等を実施するなど、重要性が高いリスクに特化した訓練を実施している。

## II. 教育研究等の質の向上の状況

---

平成27年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

### ○ 地元新聞社との連携による起業支援の取組

徳島新聞社と締結している連携協定に基づき、徳島県西部において起業する人材の育成を目的として、サテライトオフィス「にしあわ学舎」を拠点に、地域で「まちしごと」を実践している実業家とのコラボレーションによる「オープニングフォーラム」（参加者180名）等を実施した結果、4名が起業を行っている。

### ○ 学生と教員が共に学び合う初年次教育カリキュラムの構築

学部初年次教育として「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」を導入し、学生は将来を見据えて学習意欲を向上させながら、能動的学修の実践に必要な「文章力」「プレゼンテーション力」「協働力」等のラーニングスキルを体得するとともに、教員は現場実践型職能開発によりティーチングスキルを向上させるなど、学生と教員が共に学び合い成長するためのカリキュラムを構築している。

### ○ 地元金融機関との連携による産官学金連携モデルの構築

徳島大学と地元金融機関との間で締結した産学連携協定の下、地元企業との共同研究等のマッチングが成功したことを踏まえ、平成27年度には、徳島大学との産学連携に取り組む事業者への出資も投資対象とした総額10億円のファンドが新たに設立されており、今後の新たな「産官学金」連携のモデルとして期待されている。

### ○ 地域連携や地域支援の拠点となるセンターの設置

地域連携支援や地域活性化に関する特色ある教育研究活動を実践的に推進するため、所属や立場の異なる多様な関係者が集まり、未来志向のアイデアや解決手段を見つけ出すための場として「フューチャーセンター」を設置している。本センターは、新たなインターンシップの開発に向けた座談会やセミナー等（計54件、参加者計694名）に活用されている。

### ○ 四国5大学連携による授業科目の共同実施

「四国におけるe-knowledgeを基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施」事業において、各大学から提供されたe-Learning科目を自大学の科目として共同開講する仕組みを新たに整備している。このことにより、科目提供大学以外の履修者は5大学全体で344名（平成26年度：17名）へと大幅に増加している。

## 附属病院関係

（教育・研究面）

### ○ 専門教育等の院内認定制度の充実

医療従事者の能力向上とキャリア形成を目的に、糖尿病、脳卒中リハビリテーション看護や感染管理、エキスパート助産師育成等の専門教育、及び教育担当者の院内認定プログラムを実施しており、平成27年度においては9コースを開講し、それぞれ38名・11名が修了している。

**(運営面)**

**○ 地域医療拠点の形成に向けた県立中央病院との連携強化**

総合メディカルゾーン構想（隣接する徳島県立中央病院と連携して地域医療の拠点となる取組）に係る連携を推進するため、病院と徳島県立中央病院における医師の相互派遣について、徳島県立中央病院のERで研修医等を指導するための指導医派遣を実施するとともに、平成26年度に県との間で締結した設備共用受電に関する覚書に基づき、災害時における病院から徳島県立中央病院への電気供給を可能としている。